

○ 有松まちづくりの会 総会開催 (5月17日)

○30年度の活動方針と事業計画

- ・町並みの保存・景観の維持を中心にまちづくりを模索する。
- ・有松観光案内処の永続的で安定した運営管理の協力を模索する。
- ・日本遺産認定にむけ、行政・関係団体と連携を密にして、具体的な活動に入る。
- ・防火・防災体制の確立と初期消火システムを構築する。
- ・福よせ雛プロジェクトの定着化を図る。
- ・小路名称看板の追加設置を行う。

○会長交代

服部豊会長が勇退され、竹田嘉兵衛副会長が会長に就任しました。

<服部前会長退任挨拶>

まちづくりの会の三代目会長に平成7年に就任し、23年間皆様のご協力とご支援で大過なく務めさせていただきました。私も90歳になり、世代交代を考え退任しました。皆様長い間ありがとうございました。

<竹田会長就任挨拶>

23年間、服部前会長の薫陶を受けてきました。すでにいろいろテーマをいただいていますので、先ずはこれらを進めたく思っています。

前会長同様皆様のご協力をお願いいたします。



竹田嘉兵衛氏

○ 有松まちづくりの会 役員会 (5月28日)

○人事異動について

- ・服部豊前会長：顧問に就任。・成田治副会長（事業部担当）：退任し参与に就任。
- ・久田耕一郎：副会長（事業部担当）に就任。鈴木義光：退任。山田修生：事業部長に就任。

○ 総会講演会「希望学から見た 有松・鳴海絞り産業」 (5月15日)

講演者の梅原浩次郎氏は「希望学」という視点から、「有松・鳴海絞り産業には希望がある」と話されました。生産を海外委託により国内基盤が脆弱し、危機的状況の中で必死にもがき続ける中、将来の希望、産地の持続可能性が見出せます。「国際絞り会議」の開催が絞りの概念を広げ、例えば「絞りの凹凸の造形」がランプシェードなどに製品化されています。また、素材も木綿や正絹だけでなく、革やカシミアのみならずガラス・プラスチックなど多様なものに広がる事でしょう。また、若手の育成に努めたことで、まちに新ショップができ、活性化しつつあります。

「伝統産業でも挑戦によって未来を手元に引き寄せる事が可能である」と結論づけられました。

○ 有松あないびとの会 会長に鈴木義光氏就任（5月15日）

P-2

結成当初から会をけん引されてきた成田治会長は、ご高齢と次世代への交代が必要と考えられ、この度辞任を決意されました。これに基づき臨時総会が開かれ、会長に鈴木義光氏、副会長に加藤明美氏、顧問に成田治氏の人事が承認されました。

<会長に就任して：鈴木義光氏>

平素は有松の皆様、関係者の皆様に大変お世話になり、ありがとうございます。当会も創立15周年を迎えることができたことは皆様のご協力の御陰と感謝申し上げます。

昨年、ご案内したお客様は6779名でした。また、現在の会員数は40名です。私達は有松を訪れる方に誠心誠意おもてなしの精神でご案内を申し上げます。今後ともよろしくご協力の程お願いいたします。



鈴木義光氏

○ 有松天満社で結婚式（5月19日）

当日の朝まで雨で、挙式が心配されましたが、式が始まる数時間前からは爽やかな五月晴れとなりました。

新郎新婦は、竹田邸腕木門を出て西町の古い町並みを歩き、歴史ある有松天満社の社殿での神前結婚式に臨みました。新婦は正絹の総鹿の子絞りの白無垢です。

式場は天満社御本殿。この神前結婚式は、「絞婚（しこん）英名:Shibori Wedding）」と名付けられました。

「絞婚」は有松天満社文嶺講と竹田嘉兵衛商店による共同企画で、ブライダル事業の記念すべき始まりです。

重伝建地区に選定された有松の古い町並みと伝統産業である「絞り」を融合させ、地域を盛り上げていこうとする若い人たちによる新たな取り組みにエールを送りたいものです。



東海道を歩く新郎新婦

○ 今川義元公慰霊祭 単独開催（5月13日）

今年から桶狭間古戦場まつりの開催は6月の第2日曜日に移されますが、今川義元公の慰霊祭は例年通り5月の第2日曜日に開催されました。当日はあいにくの雨で、会場が桶狭間古戦場公園から長福寺本堂に変更され、100名を超える関係者・来賓が出席して執り行われました。

10時に桶狭間古戦場保存会理事長の挨拶で始まり、長福寺住職の読経の中、出席者が順次焼香をし、約1時間で慰霊祭は終了しました。

義元公といえば、お歯黒・小太り・短足とあまりいいイメージをお持ちでない方も多いと思いますが、実は蹴鞠や和歌などの公家の嗜みも持った反面、弓の名手で海道一の武将であったようです。



今川義元公

○ 春の学区一斉町美運動（5月27日）

有松学区は、名古屋市の「全市一斉清掃活動！クリーンキャンペーン・なごや2018」に参加して、「春の学区一斉町美（まちび）運動」として実施しました。

自宅の周辺や歩道・町内の空き地などの草刈り、ゴミのかたづけ、側溝の土・泥上げなどを行いました。西町では、西町年行司周りの清掃に10名ほどの近所の方が参加され、草刈などを行っていました。

この町美運動の成果は、可燃ごみ：1600袋、資源ごみ：230袋、土・砂類は土嚢で250袋でした。



西町の町美運動

○名古屋市指定有形文化財「岡家住宅」について

岡邸は現在、株式会社「岡啓」（代表：岡益光氏）が管理しており、「絞りまつりではたくさんの方に見ていただきたい」と公開に向け準備が進められました。

岡家は江戸末期の建造物で、浮世絵に描かれ、江戸末期の家並調図には「丈助」の名で記載されています。間口が9間もあり、軒裏は漆喰が波型に塗られています（のたり塗り）。釜場の壁が防火のため波形に塗りこめてあるのが有名で、裏庭に入ると、生い茂った樹木が伐採され、往時の池のある景観が想像できます。その奥にある東西2つの蔵には、原料や絞製品が納められていたのでしょう。

家屋には、畳が新しくなった部屋が10余りあり、神棚、由緒ある金庫、電話室などあり、興味を引くものが沢山あります。絞りまつり時に見学にお出かけください。



電話室

○ 有松点描

○平成の有松一里塚

一里塚は慶長9年（1604）、徳川家康の命により、江戸日本橋を起点とし各街道の両側に、一里（4km）の目印となる塚木が設けられたものです。

有松一里塚は、江戸から87番目の塚で5間（9.1m）四方で塚頂上に榎が植えられていましたが、大正13年国から払い下げられ、民地となり塚が消滅しました。

その後、高架の国道302号が通ることになり、空地が生まれました。有松桶狭間観光振興協議会が、ここに一里塚を再現しようと発案し、国土交通省と交渉の結果、直径5間の円形（南塚の方で公園としての面積を多く取るため円型にした）の一里塚が平成24年3月に造られました。地元の方は「平成の有松一里塚」と呼んでいます。



平成の有松一里塚（北塚）

○ 5月号の訂正

○国道1号線に「桶狭間古戦場公園」案内看板が設置される（ページ3、写真説明文）

誤記：1合織に取り付けられた・・・

訂正：1号線に取り付けられた・・・

○有松中学校生徒数1000人超え（ページ4）

誤記：名古屋市立中学校では三番目のマンモス校

訂正：名古屋市立中学校では一番のマンモス校

上記の訂正をお願いするとともに、お詫びを申し上げます。

○ 催事・行事の予定

- ・6月02日・3日 09:00 第34回 有松絞りまつり 有松東海道一帯 有松絞りまつり実行委員会
- ・6月10日（日） 09:30 桶狭間古戦場まつり 古戦場公園、長福寺、大池 同実行委員会
- 〃 15:00 歴史講演会 長福寺
- ・6月17日（日） 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り 青空市運営委員会（仮称）
- 〃 13:00 人形供養 平安会館有松斎場 福よせ雛プロジェクト
(人形持込み受付 9:30～)
- ・6月24日（日） 07:30 かえで道の清掃
- ・6月27日～ 09:30 第11回 国際絞り会議 in japan（名古屋会議）
7月1日 (詳細はチラシ、またはホームページ「有松のまち」新着情報参照)
- ・7月06日～ 09:30 第11回 国際絞り会議 in japan（山形会議）
7月10日 (詳細はチラシ、またはホームページ「有松のまち」新着情報参照)

発行者：竹田嘉兵衛（有松まちづくりの会 会長）

編集者：加藤 一成（有松まちづくりの会 広報部員）

T・F 052-623-1676 090-4163-2671 E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

：有松まちづくりの会ホームページ

有松のまち

検索

【ご参考】

- ・10月27日（土）の「緑区民まつり」では、昨年につき『重伝建の町 有松』を紹介するコーナーを設ける予定です。
- ・11月24・25日「第11回有松コミセンまつり」の開催が予定されています。